

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3 ◆おはなしポレポレ （資プラ） （紙・衣）	4 （金属類） （アルミ）	5 ◆ふれあい教室 ◆木曜シネマ （もえる）	6 ◆乳児相談 ◆図書館託児サービス （鹿プラ）	7 ◆名作映画鑑賞会 開庁 8:30~12:00 町民課・税務課の一部業務のみ
8	9	10 ◆嵐カフェ （資プラ） （紙・衣）	11 ◆行政相談 （ガラス） （有害）	12 ◆4~5か月児健診 ◆9~10か月児健診 ◆法律相談 ◆木曜シネマ （もえる）	13 ◆ふれあい教室 （ペット） （戸別）	14 開庁 8:30~12:00 町民課・税務課の一部業務のみ
15 ◆名作映画鑑賞会	16 ◆ふれあい教室	17 ◆1歳6か月児健診 （資プラ） （紙・衣）	18 ◆図書館託児サービス ◆健診後の健康相談 （金属類） （アルミ）	19 ◆子育て広場 はとぼっぼ ◆木曜シネマ （もえる）	20 春分の日 （鹿プラ） （海）（図）（嵐）（健）（交）	21 ◆おはなしの森 開庁 8:30~12:00 町民課・税務課の一部業務のみ
22	23	24 ◆ちいさいのおはなし会 （資プラ） （紙・衣）	25 （ガラス） （びん）	26 ◆ふれあい教室 ◆木曜シネマ （もえる）	27 ◆ふれあい教室 （ペット）	28 開庁 8:30~12:00 町民課・税務課の一部業務のみ
29	30	31 （資プラ） （紙・衣）	納税は便利 な 口座振替で!			

● 休館日 ●

- 海 B&G海洋センター
- 嵐 子育てステーション 嵐丸ひろば
- 図 知識の森嵐山町立図書館
- 健 健康増進センター
- や 生き生きふれあいプラザやすらぎ
- 交 交流センター(北部・南部・ふれあい)

● 嵐山町ごみカレンダー ●

- もえる... もえるごみ
- 金属類... 金属類
- びん... 茶色・無色びん
- 資源プラ... 資源プラ
- アルミ... アルミ缶
- 鹿プラ... 鹿プラ
- 紙・衣類... 紙・衣類
- ガラス... ガラス類
- 戸別... 戸別収集日 (有料)
- ペット... ペットボトル
- 有害... 有害ごみ

広報・報道で振り返る

町のあの日、あのこと

過去の広報・報道に掲載された記事を振り返ります。過去の広報を通して、町の歴史に触れてみませんか。

嵐山町社会福祉協議会は法人化されてから30年以上経ちました。主な業務として、おたすけサービスや愛情弁当・各種相談事情をはじめとした地域福祉事業と介護保険事業があります。嵐山町の地域福祉を推進する中核的な団体として、身近な存在として住みよい町づくりのための事業を行っています。

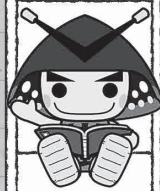
昭和62年2月号の報道より

法人化はなぜ必要か
あたる福祉から
手づくりの福祉へ

1月4日 嵐山町社会福祉協議会

今後の事業内容は

教育の広場



● 菅谷小学校

菅谷小学校における
特別支援教育

埼玉県では、「特別支援教育」において、「インクルーシブ教育システム」の構築が必要としています。

「特別支援教育」とは、障害のある子の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するものです。この視点を立ち、子供一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善または克服するため、適切な指導及び必要な支援を行います。また、「インクルーシブ教育システム」とは、障害のある子と障害のない子が共に学ぶことができる仕組みのことです。

特別支援教育の視点も踏まえ、菅谷小学校では、「どの子もわかる・できる・たのしい授業」をスローガンに日々の教育活動に取り組んでいます。その一部を特別支援教育の視点で紹介いたします。

ユニバーサルデザインの
環境づくり

「ユニバーサルデザイン」とは、障害がある子にとって必要な、障害のない子にとって便利なデザインのことです。

そこで菅谷小学校では、教室の前面をできるだけシンプルにしています。

教室の前面に、カラフルな色彩の物をたくさん掲示すると、注意を集中させることが苦手な子や見ること課題がある子のみならず、そうでない子も集中力がそれてしまいます。



一日の流れを掲示することも、見通しを持たせ安心して生活でき

ICTを活用した授業

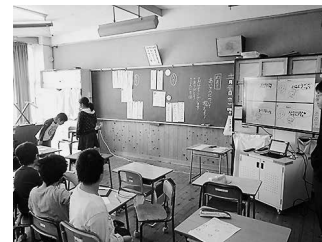
来年度より小学校ではプログラミング学習が必修化されます。そのため今年度より、菅谷小学校でもタブレットPCが導入されました。

各学年でデジタルドリル、社会科や総合的な学習の調べ学習、理科の実験の難しい課題を映像教材で確認、プログラミングソフトを体験するなど、さまざまな活用の仕方を試みています。

特別支援学級でも、日常生活で子供たちが課題に感じていることを話し合っ解決する学習で使用しています。その課題とは、あいさつ、掃除の仕方、休み時間の過ごし方などです。

タブレットPCの画面に、考えて欲しいイラストや写真を映し出す。それを見ながらグループごとに話し合い、書き込んだものをテレビ画面に投影して発表します。タブレットを活用することで、目で見て、体験することができ、子供たちも理解しやすいようです。

子供たちの力を信じて



子供たちが何かにつまずいたときに、どのように対応するのかいろいろな考え方があります。つまずいたときつい手を貸したくなくともあるのではないのでしょうか。そのつまずきながら、環境を整えていく支援を考えます。環境の中には関わる大人も含まれます。どのように関わればわからないようになったとき、子供たちを信じて待つてみてはいかがでしょうか。子供が自ら解決し自信をつけていくきっかけになることもありますし、解決できなくても何が課題になっているのか把握でき適切な支援ができるかもしれません。子供たちが立派に自立できるよう、今後も指導・支援をしていきます。

菅谷小学校 ☎ 62-2044

